佐世保市立　相浦西小学校　学校だより

校訓 強正美

平成３０年４月１６日
【　第　２　号　】
文責：校長　金子圭一

【１０日（火）入学式】・穏やかな天候に恵まれ３５回目の入学式を行いました。１年生は１１８名、１～４組と「たんぽぽ学級」の合計５クラスとなり３０年度の全児童数６２４人と学級数２２（普通学級１９と特別支援学級３）が確定しました。昨年度より主役の１年生を囲むようにフロアーで式を行い、在校生は５，６年生が代表で参加しました。お忙しい中に多くの来賓の皆様にご臨席頂きました。

【１３日（金）歓迎集会・歓迎遠足】
・３０年度、初めて全校児童が集まり、１年生の入学を祝いました。体育館の飾りつけや歓迎の出し物・ゲームなどを学年で分担し集会を盛り上げました。楽しかった様子を聞かれた家庭も多かったでしょう。今年度は九電グランドをお借りして遠足を行いました。距離、広さ、そして芝生による安全性と条件が整っていました。遠足にかかわる準備などありがとうございました。主役の１年生は若葉のように輝いていますが、入学式の準備から１年生のエスコートなど６年生を中心に在校生の成長も輝いていた１週間でした。また、本日１６日（月）から１年生の給食（カレー）がスタートしました。

【儀式において児童代表として頑張った子どもたちを紹介します】
着任式児童代表挨拶：６年　山北　倖輝
始業式がんばる事発表：２年　岩永　奈弥、３年　稲田ひかる
４年　古堅　幸輝、６年　森　龍成
入学式児童代表の言葉：６年　元山　真音　（みんな頑張っていました）

（大きな目標と子どもたちの行動目標は継続します）
学校経営の基本方針　「みんなが楽しい学校」の創造

子どもたちの行動目標
「あいさつ」「へんじ」「くつならべ」

【１１日（水）１年生への防犯ブザー贈呈式】
・相浦地区防犯安全協会と相浦警察署の皆様による防犯ブザーの贈呈式を行いました。防犯標語「いかのおすし」（**「いか」ない、「の」らない、「お」おきな声を出す、「す」ぐ逃げる、「し」らせる**）を「劇」を通してわかりやすく教えていただきました。

【帽子着用の推奨】・昨年度の学校評価で帽子の着用についてご意見をいただきました。安全（視認性や紫外線、衝撃から守る等）のためにぼうし着用を推奨します。

【名札着用のきまり】・登下校時も含めて学校では名札を付けることを生活のきまりとしています。それは①「安全性」②「責任ある行動」を理由としています。昨年度、登校中に怪我をした児童を保護した警察官が名札によって迅速に学校と保護者に連絡を入れることができた事例があります。②については匿名性によって無責任な行動や態度を防ぐというよりも本校児童として責任ある行動や態度を地域の皆様方に認めていただきたいという積極的な理由からです。①の安全性を高めるため上記防犯標語も含め、危機回避の力をつけることも大切だと考えます。

【３０年度　学校経営グランドデザイン】
・新しい学習指導要領の考えを盛り込み、加速度的に変化する社会に対応するために必要な力を育てること、そのために地域や保護者の皆様と連携することなどを構造化しています。学校は子どもたちにとって小さな一つの社会であることから社会性の基礎力育成のため、基本方針や行動目標を昨年度と同じに設定しています。**（裏面と学校ホームページに掲載）**

【県配置の講師等が決定し全ての職員がそろいました】石瀧明子（算数）、横田彩加（音楽、理科）、長尾明夫（スクールカウンセラー）

平成３０年度　佐世保市立相浦西小学校　グランドデザイン

1　教育方針　○長崎県及び佐世保市の教育方針に基づき、本校の歴史と伝統を ふまえ、家庭・地域並びに児童の実態に即して、**生きる力**（主体的に学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していくために必要な力）を身につけさせるため、家庭・地域と一体となり本校教育の充実・発展に努める。

2「生きる力」の３つの柱　①「しる！できる！」　②「つかう！つくる！」　③「かかわる！むかう！」

①「何を理解しているか、なにができるか」（生きて働く「知識・技能」の習得）
②「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成）
③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

3校　訓　「強く、正しく、美しく」　**4　教育目標**　「よく考え、心豊かで、たくましく生きる児童の育成」

5　めざす児童像　○主体的に学習に取り組み、共同社会を築く集団の一員として、あったか言葉やあったか行動の実践によって、みんなと協力しながら楽しい学校を主体的に創造しようとする、健康でたくましい児童

思いやりのある子		よく考え、気づく子		たくましい子
豊かな心や創造性の涵養（徳）	目標	自ら学ぶ意欲と基礎学力の定着・活用（知）	目標	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフ（体）
○いじめを生まない学校、学級づくり ○規範意識、生命尊重、自尊感情や他者への思いやり等、道徳性の育成		○基礎的・基本的な知識・技能の習得 ○思考力・判断力・表現力の育成 ○学習意欲の向上や家庭学習の習慣の確立		○健康教育・食育の推進と体力の向上 ○事故や怪我を未然に防ぐ知識と態度の育成 ○壁を乗り越え、課題に向かうたくましさの育成
○道徳科を要とした道徳教育の充実 ○心に響く体験活動や掲示教育の推進 ○一人一人の心の居場所と存在感がある学級経営 ○規律とけじめのある生活態度の育成 ○児童理解及び相談活動の充実 ○心を磨く清掃・ボランティア活動の推進	具体方策	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○学び合う学び方の習得 ○わかる楽しさ、できる喜びが味わえる授業 ○言語活動の充実・読書活動の推進 ○学習規律の徹底「学びのスタンダード」 ○少人数指導やＴＴ等、個に応じた指導の充実	具体方策	○安全管理の徹底と安全教育の推進 ○望ましい給食指導と食育の充実 ○明るく・美しい教育環境の整備 ○運動に親しむ環境づくり ○基本的な生活習慣の定着 ○体育及び保健指導の充実

6学校経営の基本方針　「みんなが楽しい学校」の創造　（※学校は１つの社会であり、未来の社会に向けた準備段階としての場である）

7 めざす学校像　「楽しい学校、開かれた学校、信頼される学校」

（1）子どもたちにとって「楽しい学校」とは「安心感」、「所属感」、「自己有用感」、「達成感」のある学校である。
安心感＝心と体が安らぐ居場所が確保され、安全で美しい人的・物的環境。　所属感＝共同社会を築く集団の一員であることが自覚できる集団。
自己有用感＝他から認められ、頼りにされ、自分に自信がもてる人間関係。　達成感＝自己実現を図ろうとする意識を高め、課題や学びに向かう集団。
（2）保護者・地域にとって「楽しい学校」とは、子どもたちの成長のために協働できる「開かれた学校」である。
（3）職員にとって「楽しい学校」とは、働きがいのある「信頼される学校」

8　みんなが楽しい学校」にするための重点課題　「親和的で規律のある集団の育成」

○学校生活に対する満足度が上がり、日々の教育活動が充実し、自ずと学びや課題に向かう集団として高まり、結果として今日的課題は解決する。

（1）親和的な集団の育成のために　（かかわり合う力の育成）　◎具体的な行動目標【　あいさつ・へんじ　】
（2）規律のある集団の育成のために（ルールを尊重する態度の育成）　◎具体的な行動目標【　くつならべ　】

9　めざす教師像　「新たな課題に対応するため、自ら学び続け、組織的・協働的に力を合わせる教師」

（1）Passion　「教育に燃える教師」　・教職に対する使命感や誇りなど強い情熱と責任感
（2）Personality　「心豊かな教師」　・豊かな人間性や社会性と児童に対する教育的愛情など総合的な人間力
（3）Professional　「信頼される教師」　・教科・生徒指導力など教育の専門家としての確かな実践的指導力

１０特別支援教育の充実	連携・協働	１１家庭・地域との連携
○校内支援体制の整備による組織的な対応（校内支援委員会） ○関係機関等との連携による効果的な支援（支援計画） ○児童の理解及び特性に応じた適切な指導と支援（指導計画） ○教職員の専門性の向上（現職教育・校外施設研修・教育相談等）		○魅力のある授業参観、学級懇談会の推進 ○学校のよさを発信するたよりの発行及び家庭への報告・連絡・相談 ○育友会活動や地域行事への積極的な協力と協働による「共育活動」 ○地域人材・施設等の教育力活用及び体験活動の充実